

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○従業員評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 19日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で情報共有や意見交換をすることで、より充実した支援ができるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人や保護者様のニーズに応えられる訪問になるよう、職員間で意見交換を行いながら、一人ひとりへの支援を検討、実施している。 ・高い専門性を持って支援できるよう職員の資質向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を実施し、外部研修等にも積極的に参加し、職員の資質向上に努める。 ・訪問員だけでなく、事業所職員間で活発にコミュニケーションを図りながら、チームで支援に取り組む。
2	訪問前後には必ず保護者様とのやりとりを行い、ご家庭での様子やその時々のお困り感をお聞きしたり、訪問時の学校での様子や訪問先とのやりとりについて丁寧に報告をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問前には保護者様に電話連絡を行い、最近の様子やご本人、保護者様の困り感や心配事について聞き取りを行っている。 ・訪問後には面談や電話等にて、訪問時のお子様の様子やカンファレンスでの担当者様とのやりとりを通して検討を行った内容(今後の支援)について報告を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して訪問前後には確実に保護者様とのやりとりを行うよう取り組んでいく。 ・定期的な保護者との面談の機会を確保できるよう、スケジュール化を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所全体での共有が十分に行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当訪問員以外の職員はお子様とお会いすることはなく、訪問先の情報(知識)も十分にはない。 ・訪問支援事業に従事している職員も現在は2名となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所の事業であることを職員間で再認識する機会を持ち、訪問員からも積極的に情報を発信する。 ・ご利用見のアセスメントについて、様々な職種や経験を持つ事業所職員間で意見交換を行うことで、より充実したアセスメントを図ることができるよう取り組んでいく。
2	保護者様からの事業所評価にて『分からない』『どちらともいえない』との回答が一定量あった。また、訪問先施設様からの事業所評価にて『未回答』の件数が一定量あった。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援事業の運営における情報発信が十分でなかったと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や訪問の開始時だけでなく、年度が替わる時期や計画の更新時期には、改めて訪問支援事業の運営について保護者様や訪問先施設様に丁寧に説明を行っていく。 ・現在訪問支援事業のやりとりがない機関に対しても情報発信を行うことで、訪問支援事業の認知を広げていく。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 福知山市児童発達支援センターすきっぷ

公表日 2026年 3月 20日

利用児童数 10

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			4		使用する教具教材について、お話をさせていただく機会がありますが、今後は保護者の方にも分かりやすいよう、面談の際には実際に見ていただける機会を設けさせていただきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					今後もプライバシーの配慮に十分注意してまいります。また、保護者の方から気になることなどありましたら、事業所職員にお声掛けください。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					引き続き事業の目的について丁寧に説明してまいります。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					引き続き訪問支援の頻度や時間については、保護者の方とも相談をさせていただいた上で決定してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6					職員配置数については、訪問件数に応じて適正な配置をしております。今後も充実できるように取り組んでまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	6					引き続き、訪問員の資質向上に努め、より良い支援の提供に努めてまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6					引き続き、訪問員の資質向上に努め、子どもと保護者のニーズに基づいた計画の作成に努めてまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	5			1		訪問時のカンファレンスで担任の先生等とのやりとり（情報やご意見）を基に振り返り（アセスメント）を行った上で支援計画の作成を行っています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	5			1		今後もお子さんの困り感を分析した上で、保護者様や訪問先のニーズ・ご希望に沿った支援計画が作成できるように取り組んでまいります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	6					計画の作成が遅れていることもあり、申し訳ございません。訪問の報告の際には、計画とも照らし合わせた上でお伝えできるよう努めてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6					引き続き訪問先施設の活動の流れ等に配慮した支援に努めてまいります。
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					ご請求内容につきまして、ご不明な点がありましたら事務局までお声掛けください。詳しくご説明させていただきます。その他のお問い合わせについてもありません。事業所職員にお声掛けください。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					引き続き支援内容の説明について丁寧に行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1		今後ご家族のニーズをお聞きする中で必要に応じて家族支援プログラムの実施を検討してまいります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	6					引き続き、訪問員の資質向上に努め、より良い支援の提供に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					面談の調整についても時間がかかっており大変申し訳ありません。今後も少しでも保護者様のお気持ちに寄り添えるよう取り組んで参りたいと思います。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					今後ご家族の方の思いに丁寧に寄り添った支援を心がけてまいります。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					今後も一人ひとりのお子さんと向き合い、事業所職員がチームとなってサポートしていけるよう取り組んでまいります。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					口頭だけでなく、タブレット等も使用して情報を提供するなど、今後も意思の疎通や情報伝達に配慮を心がけてまいります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					今後も保護者様だけでなく、訪問先施設からの相談等に適切に応じると共に、保護者様とも共有できるよう努めてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6					訪問先施設とは基本的には事後カンファレンスの時間を設定しております。今後も、継続して行っていくと共に、保護者様とも共有できるよう努めてまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6					共有するタイミングが遅れる場合もあり申し訳ございません。今後も適時共有できるよう努めてまいります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		2		今回を含めた過去の事業所評価等の結果や、活動概要（プログラム）については、福知山学園のホームページ等で公表させていただいております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			2		今後も個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	1		1		緊急時の対応については、今後も訪問先と十分に確認し、実践できるようにしてまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 *	5	1				今後も事業所内で丁寧に安全確認や安全確保に関する勉強会を行いながら、訪問先でも安心して活動いただけるよう取り組んでまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					今後も引き続き、子どもとの関係構築も図りつつ、訪問支援が展開できるよう努めてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	6					今後も引き続き、保護者様の思いに寄り添い、お子さんの成長（発達）をサポートしていけるよう、職員の資質向上に努め、より良い支援の提供に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
福知山市児童発達支援センターすきっぷ		2026年 3月 20日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と経験を基に、いつも丁寧に助言をいただいております。日々の保育に取り入れて参考にさせていただいています。 行動観察で感じたことや生徒との話で大事なことを、いつもわかりやすく話していただいています。 生徒の行動面について、多面的に話し合うことができました。その際に生徒の心情について専門的なご意見をいただき、ありがたかったです。 	今後もご利用児に対しての見立てについて、丁寧に訪問先の担当者様と丁寧にやりとりを交わすことで、ご利用児が安心して学び、育っていただける環境や支援の構築を一緒に考えていきたいと思っております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> 児の様子や課題に合わせて、様々な側面からのアプローチ方法を提案していただき満足しています。 普段、生徒と関わっていても気付かない視点で見えておられ勉強になります。 学校でSSTを実施することを提案いただきました。生徒の長期欠席により、残念ながら実施には至りませんでした。今後も支援の手段として取り入れていきたいと考えています。 保護者との関わり方についての助言や必要な情報をいただけたことがよかったです。 	今後も継続して研修を受けるなどし、訪問支援員の専門性の維持・向上に努め、ご利用児のアセスメントの共有や、活動などの提案をできるようにします。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> 相談させていただいたことに対して、その都度適切に回答してくださっています。 毎回丁寧に話を聞いてくださいます。 生徒の行動面について相談したところ、その行動の背景にある生徒の心情について専門的なご意見をいただき、指導に生かすことができました。 参観の後、懇談の時間を持っていただき交流できました。適宜、電話でも相談にのっていただきました。 	今後も質問等に対しては丁寧に対応したいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5			<ul style="list-style-type: none"> 児の対応方法に加えて保護者への支援方法についても助言いただけたことが良かったです。 生徒が安心して自分の思いを話せる人がいることで、気持ちの安定につながっていると思います。 継続して、本児と保護者に関わっていただき、学校と家庭が連携しやすい環境を作っていただけたことが良かったです。 	学校と保護者のパイプ役を担えるよう、また、実際の支援に活かしていただけるよう、今後も訪問先の担当者様と密に連携がとれるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> いつも丁寧に対応いただき、ありがたうございます。生徒に常に寄り添っていただき、心強い存在になっています。 機会があれば、またお世話になりたい。 	今後も訪問支援に満足していただけるよう、専門性の維持・向上に努め、ご利用児、保護者、学校の三者が安心していただけるような支援を行います。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> 当該生徒の進路実現に向けて相談できたこともよかったです。ありがとうございました。 該当の生徒は継続して支援していく必要があるため、事業終了後も見守っていただきたい。 					<p>就学・進学に向けては、当事業所からも移行シートを作成し、情報提供をさせていただいております。就学・進学前のやりとりはもちろん、就学・進学後の移行期のサポートについても、保護者様の思いを聞かせていただきながら、丁寧にサポートしてまいります。</p> <p>ご利用児が各訪問先を卒業されることで訪問事業としてのやりとりは終了となりますが、今後も、保護者や学校のニーズに応じていける事業であるよう取り組んでまいりますので、引き続き、よろしくお願いたします。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2026年 3月 20日

事業所名		福祉山市児童発達支援センターすきっぷ				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		対象児の実態に合う教材（モデル）の提供をしている。直接支援にあたる場合はすきっぷにあるボードゲーム等を活用したり、個別で教材を作成したりしている。	今後もご利用児の特性に応じた教材を準備していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	訪問支援の経験者が少ない状況である。	3事業の業務を整理しながら時間の確保に努める。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		事業所アンケートだけでなく、事業計画や事業目標を設定し、継続的に取り組んでいる。	PDACサイクルを共有し、継続的に見直しを行っていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		評価結果について職員間で共有している。	事業所・職員の目標として取り組む。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		訪問前後には、訪問員同士で情報共有や相談等を行っている。また、定期的に職員面談や職員アンケートを実施し、その結果を共有したり、面談での提案を受けて改善に努めている。	今後も定期的な面談を行うと共に、他職員とも情報共有をすることで、チームで療育に取り組んでいく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	各関係機関との連携の中で評価を受けた場合、業務改善に取り組んでいる。	職員間で共有を行い、必要に応じて業務改善を行っていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	年間1人1回以上の研修の機会と確保と、法人内研修参加等の機会を設けている。	様々な分野の研修の機会を確保し、資質向上につなげていく。また、今後も研修等に参加しやすい体制作りに取り組んでいく。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		保護者面談でのニーズの聞き取りや専門職のアセスメント、訪問先とのやりとり等の情報を基に複数の職員で意見を交わしながら作成している。	今後も継続していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		計画作成時には、職員間で確認や検討を行った上で保護者様へお渡ししている。	今後も継続していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問時にはカンファレンスの時間を設定し、担当者等との意見交換を行っている。	今後も継続して取り組む。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で確認を行った上、保育所等訪問支援計画の閲覧ができるようファイルしている。	今後も継続していく。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		標準化された心理検査や、訪問時の行動観察を行うなど、様々なアセスメントを行っている。	今後も専門的な評価のできる人材の確保に努める。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインの閲覧を実施した上で、具体的な支援計画の作成に取り組んでいる。	今後も継続していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で確認を行った上、保育所等訪問支援計画の閲覧ができるようファイルしている。	今後も継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		2	常に報告はしているが不十分であると思う。保育所等訪問支援事業のみの契約者が多く、すきっぷ内での連携は十分行えていない。	保育所等訪問支援事業のみの契約者についても情報共有に努める。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		常に報告はしているが不十分であると思う。保育所等訪問支援事業のみの契約者が多く、すきっぷ内での連携は十分行っていない。	保育所等訪問支援事業のみの契約者についても情報共有に努める。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問を実施する際には、訪問先の担当者（担任）だけでなく、学校体制の中で受け入れをいただけるよう調整の上、依頼文をお渡ししている。	今後も継続して取り組む。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		訪問終了後に記録を行い、児童発達支援管理責任者により内容等確認をしている。	さらに充実した記録となるように職員間での検討を行う。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期（半年ごと）のモニタリングを実施している。また保護者様・関係機関との連携を図り、計画に反映している。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		相談支援事業所のサービス担当者会議や、関係機関との会議には、訪問担当者が出席している。	今後も継続して取り組む。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1	必要に応じて保健師や医療との連携を図っている。	ご利用児と保護者様にとってはもちろん、関係機関にとって有効な支援となるよう、今後も連携を図っていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就園・就学・進学の際には移行支援シートの作成を行い、支援内容等について情報共有を行っている。また、必要に応じて書面のやりとりだけでなく、カンファレンスや電話連携の機会を設けたり、就学後についても保護者の要望を受けて情報共有等の連携を行っている。	ご利用児と保護者様にとってはもちろん、関係機関にとって有効な支援となるよう、今後も連携を図っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1	専門機関への研修は積極的に参加している。また、定期的に外部講師を招き、職員の支援資質の向上に取り組んでいる。	他機関や他事業所などが研修などを設定された時には積極的に参加していく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		自立支援協議会や子ども部会に参加している。	今後も継続して積極的に参加していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		訪問後は必ず保護者に内容を報告している。また、定期的に面談の機会も設けている。	今後も継続して取り組む。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	保育所等訪問支援事業の保護者を対象として保護者会等は実施できていないが、今後保護者等のニーズに応じて開催を検討したい。	今後も保護者のニーズを聴き取りながら、必要に応じて家族支援プログラムを実施することも検討する。
保護者等へ	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時と変更時に説明を行っている。	引き続き、丁寧に説明を行っていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		契約時と変更時に説明を行っている。	説明を行う際には訪問先でも情報共有をいただけるよう書面をお渡しすると共に、契約時や変更時だけでなく、定期的に訪問支援の目的やそれぞれの意向を確認する機会を設けていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		計画作成時には、その時々のご利用児や保護者様の思いやニーズ等の情報を収集・整理し、説明時にご要望があれば変更・追加も行っている。	今後も継続していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		年間1人2回の面談を行い、保護者様に同意のもとサインを頂いている。	今後も継続していく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		訪問前後は必ず保護者とのやりとりを行い、その時々の思いも聞き取っている。また、定期的に面談の機会も設けている。	今後もより充実できるように取り組む。

の 説 明 等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		保育所等訪問支援事業の保護者を対象として保護者会等は実施できていないが、別事業も活用しながら保護者同士を繋ぐ支援をしている。	今後も保護者のニーズを聞き取りながら、必要に応じて保護者同士で交流する機会等を設けることを検討する。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		苦情に関する対応システムがあり、苦情があれば取り組む。	苦情がないよう事業所全体で取り組んでいく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		2	事業所としてHP等での情報発信は行っているが、保育所等訪問支援事業に関する発信はできていない。	訪問支援は個別の対応であるため、今後ケースが特定されないよう改変した上で、どのような事業であるか発信に努める。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取扱いに関する指針を設けている。	今後も注意して取り扱う。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		ご利用児・保護者様の意思を確認しながら、写真やビデオ、オンラインの活用等充実したコミュニケーションができるよう配慮を行っている。	今後も継続していく。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		要望があった際には対応できる体制を整えている。	今後も継続して取り組む。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		毎回設定することも難しい訪問先もあるが、基本的には訪問後に必ずカンファレンスを行うよう努めている。	今後も継続して取り組む。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		訪問後は必ず保護者に内容を報告している。	今後も継続して取り組む。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取扱いに関する指針を設けている。	今後も注意して取り扱う。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		要望があった際には対応できる体制を整えている。	今後も継続して取り組む。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		マニュアルは策定できている。訓練については定期的に取り組んでおり、今後はより実践的な訓練としていく。	マニュアルについては職員が常に確認できるよう整え、訓練に関してもお知らせ等での周知だけでなく、実際の様子などが保護者様も確認できるよう取り組む。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		遊具等の設備の点検、虐待防止や人権についての研修等について、年間スケジュールを作成し、計画的に実施している。	今後も継続していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットについては事業所内で確認し、法人内のヒヤリハット事例も共有している。	今後も継続していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待に関する法人内・事業所内研修を実施している。報道などがあった際には職員間で共有している。	今後も継続していく。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		事業所では身体拘束は行っていないが、やむを得ない場合については事業所内、法人内で決定しており、契約時に丁寧に説明を行っている。	十分に検証を行い、必要な場合は記載を行う。	